



# みくにだより

「先生、ぼくの家にも本当の地震がきたよ！」

園長 細井 典子

9月1日は防災の日です。今日本では様々な災害が発生し人々を苦しめています。地震は？火災は？水害は？いつ私たちの身近に起こっても不思議ではない災害。日頃より避難方法や物質的な準備、心の準備をして備えておきたいものです。

園では毎月いろいろな場面を想定して避難訓練を行っています。今月は地震発生後机の下にもぐり、身の安全を確保し、その後火災発生を想定し園庭へ避難します。練習とはいえ、皆の顔は真剣そのもの、おしゃべりする人はいません。

ある日の避難訓練のことです。「地震です！」の一言を聞くと皆一斉に机の下にもぐります。4月からの積み重ねにより、もぐる姿勢もすばくなりました。「ゆうちゃん、足が当たって、いたいよ！」「しずかにして！」年長のまさゆき君が小さな声で注意しました。皆先生の話聞くために静かにするという約束を守っています。次に先生が言いました。「皆さん大丈夫。こわくありませんよ。まだ地震が続いているのでもう少し我慢してくださいね」シーンと静まり返った教室に、今度は「火事です。園庭へ避難してください！」という声が聞こえました。「外へ出ましょう！」皆が先生の後に続きます。教室のドアを出てテラスまで来たところで、年少のまゆちゃんは靴にはきかえようとしています。

「うわばきのままでもいいのよ！」「えーっ！うわばきのまま外へ出るの？」園庭の中央にクラスごとに集まり、先生がひとりひとりの名前を呼んで点呼しています。「山下ゆう君、山下ゆう君…」「ゆう君返事して！」ゆう君は下を向いて砂いじりをしていたので、気づかなかったのです。（「失敗！失敗！」）すぐに、大きな声で「はい！」と返事をしました。皆、無事に避難できました。保育園の赤ちゃんも先生におんぶしてもらって参加しています。

その夜、千葉県北西部を震源とする地震が発生しました。次の朝、年中のゆう君が走ってきて興奮した顔で伝えてくれました。「先生、先生、ぼくの家にも本当の地震がきたよ。だから、僕、すぐにテーブルの下にもぐったんだ。本物は怖かったよ。ドキドキしたよ。テレビがぐらぐらして、パパが押さえていたんだ。パンダのぬいぐるみが落ちたよ！」地震は、いつどこで起きるかわかりません。いざという時に備えて、これからも様々な訓練をしていきたいと思えます。

暑かった夏休みが終わりました。皆さんにとってどんな夏でしたでしょうか。あっという間だったのか、二学期が待ち遠しかったのか？もっとも夏休みは子供たちのもので、教職員は研修等に勤め、いちょう組と生活しながら、今学期の準備を積み重ねてきました。

二学期は運動会やクリスマス会など行事もたくさんあります。お店屋さんごっこなど様々な行事を通じて、そして毎日の園での生活を大切にすることで、しっかりと成長をしていきます。

九月は長月（夜長月）、稻刈月ともいいます。充実した日が長く続き、実りある生活をしていきたいと願っています。そして、みなさんの宝であるお子さんたちの健やかな成長をみんなで援助していきましょう。本学期も宜しく願います。